

課題	地域課題	第3回ででた意見(抜粋)	結果
1	歩いて行ける通いの場、運動教室が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サロンについて                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンの統合などのマッチングができるといい。</li> <li>・人数が少ない中で運営できるように市、SCが協力する。</li> <li>・運営者の悩みはサロンじゃない時に聞くといい。</li> <li>・市の担当がサロンを回って幅広く続けていきたい。包括でもサロンを回ってもらい、横のつながりを持っていけるといい。</li> <li>・参加者、運営者の高齢化。一覧にないサロンもある。既存のサロンにはグループができていて入りづらいとも聞く。新しく行く方には、フォローが必要。</li> <li>・12月からの包括なので情報は少ない。少し回ったサロンでは、新しい人が来ない、リーダーがいないと聞いている。西部包括とも連携をとっていきたい。</li> <li>・順にサロンを回っている。今後健康教室、体操教室が包括としてできないかと思っている。</li> </ul> </li> <li>●おれんじスペースについて                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのおれんじスペースがどのように活動しているかまではわからない。</li> <li>・登録が増えたのではないか。どう活用していくか、アンケートなど取るといい。</li> <li>・包括が勧誘をしている。ポスターを張る協力をしてもらっている。自分から登録に手を挙げるところはない。認知症サポーター養成講座等できないか呼びかけているがまだできていない。認知症カフェ等に広がるといい。</li> <li>・市からの補助金はない。報告書の提出もない。</li> <li>・おれんじスペースで何をしているのか状況を確認できたらと思う。</li> </ul> </li> </ul>	<p>サロンの維持が難しい。市のホームページ、レインボーネットを活用して、ケアマネジャーに提供していく必要がある。</p> <p>サロンの支援を、お金だけではなく悩みを聞くなど市の方にもお願いしたい。</p> <p>サロンの運営者から上がる地域課題を吸い上げて、協議会に出してほしい。</p> <p>おれんじスペースについては、広報などで今後も情報提供を行い、登録事業所に認知症サポーター養成講座の受講を啓発をしていくことから始める。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物ボラ、御用聞き、宅配スーパーがない、オンライン買い物、買い物代行支援がない。</li> <li>・担い手不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SCとして、定期的に連絡してアンテナを張って情報共有していく。</li> <li>・きたバスが使いやすくなった。レインボーネット上に載せられないか。配達ボランティアなど障壁がある。スマホが使えないことが問題。スマホ操作、宅配業者の検索を広報などで市で啓発できないか。</li> <li>●レインボーネットについて                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市外の情報。レインボーネットは4月にバージョンアップする。CMが情報をとりやすいのでそこから情報提供するようにするといい。食べログのように、医療介護施設と同じように移動スーパーや通いの場、だれでもトイレなど載せられるといい。各地域やSCの意見が欲しい。患者の周辺資源がみえるようになり、それを印刷して渡せるようになる。</li> <li>・CM、包括が関わっていない人は家族がすることになる。市が広報などで、案内できないか。店の情報の掲載は一部の店だけに利益が発生しなければいいのではないか。</li> <li>・移動販売車はよく聞く。買い物が一番不便と聞く。レインボーネットに載せてほしい。</li> <li>・とくし丸(移動販売)で助かっている人がいる。買い物の方法が増えるとよい。</li> <li>・支援者が、レインボーネットを上手に使いえないといけない。普及も考えていかなくてはいけない。</li> </ul> </li> </ul>	<p>高齢者自身が、スマートフォンから情報を得ることは難しいため、レインボーネットに掲載し、支援者に情報提供することが可能。</p> <p>他の市町での活用を4月に活用が始まるため、参考にしてはどうか。</p> <p>通いの場の情報を含めて検討していく。</p>

課題	地域課題	第3回ででた意見(抜粋)	結果
3	<p>外出を控える傾向があり、フレイルになっている可能性がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢75歳以上の人約11,000人。健診は5月に受診票を送付。6から12月に受診し、病院から通知がある。受診率24.4%無料なので受診率あげたい。質問票は厚生労働省から依頼がある。</li> <li>・医師会には説明会をお願いしている。</li> <li>・フレイルチェック項目で5項目で聞くことができるものもある。質問票に付け加えることは検討は可能。</li> <li>・病院で個人で受診する人は、看護師や医師が受診日と結果を返す時に目にする。気になる箇所に○があれば声かけしていただけたらと期待している。</li> <li>・質問票は令和2年から後期高齢者向けに変更。以前の質問票の方がメタボ予防で細かかった。75歳以上はフレイルに着目している。</li> <li>・質問票で特に4, 5の項目に引っかかった人は歯科を勧めてほしい。</li> <li>・集団での勧奨は可能だと思う。病院での健診は医師がピックアップしてもらうのがいい。</li> <li>・医師会の理事会に出してもらい周知していく。</li> <li>・薬についてはこの質問票には載せなくていい。8, 9の項目は細かく(どんな状況か)回答が書けるといい。</li> <li>・質問票を(診察時)あまり見ていない。手間が多い。厚生労働省のだしている物とのことだが、統計など役に立っていることはあるのか。</li> <li>・結果の活用や保健指導はしていない</li> <li>・医師はアドバイスしにくい。紙でのチラシ、予防策を付けてもらえるといい。レインボーネットでの紹介できるといい。</li> </ul>	<p>後期高齢者健診に加えフレイルチェックの質問を加えてはどうか。検討し必要なら次回に意見してほしい。</p> <p>問い4・5に異常があれば歯科を進めるなど、医師会から周知してはどうかと提案があった。</p> <p>在宅医療サポートセンターから、医師会に働きかけてもらう。</p>